

令和4年度地域応援ナース実績(4月1日～8月31日)

・応援:7人(5施設) ・調整中:2人

- 今までの経験を活かし、人材不足で困っている地域で『地域応援ナース』として働いてみませんか？
1ヶ月～1年間の短期間限定勤務、コーディネーターが希望に合った働き方を提案します。
- 看護管理者の方は、退職する看護職員に「地域応援ナース」について、周知をお願いいたします。
※詳細は、<https://www.hokkaido-nurse.com/ouen/> またはQRコードからご確認ください!!



礼文島で活躍する地域応援ナースのご紹介!!

平成27年から北海道委託事業として「地域応援ナース」の取り組みが始まりました。これまで61名(70件)の方が地域応援ナースとして活躍しています。(令和4年8月31日現在)

礼文町国民健康保険船泊診療所に令和4年4月から応援ナースとして就業している小川万梨野さんをご紹介します。

礼文町国民健康保険船泊診療所
地域応援ナース 小川万梨野さん(札幌市)



升田医師(左) 所長 升田医師(中央) 小川さん(右)

【就業期間】

令和4年4月1日～(就業中)

【地域応援ナースの登録・参加理由】

“その人らしく生きる”を支える看護が自分の目標でした。前職で出会った患者さんが島で生き生きと過ごす姿に感銘を受け、島には自分の看護観を実現できる医療があるのではないかと思います、思い切って飛び込みました。

【応援の実際】

外来から病棟、薬局、検査業務までと初めてのことも多く刺激的な毎日です。ただ、良くも悪くも『島ならではの』も多いです。島のナースはベテランが多く、皆さん穏やかで優しく対応してくれます。何より島民を知り尽くしていて『Theプライマリーケア』といった感じです。派遣仲間とはよき同僚であり、友人です。

【島暮らし】

何もないです。でもそれがまた良いです。最寄りの島唯一のコンビニまでは20kmもあり、物価は島価格が高かったりしますが、宅配サービスや運が良ければ新鮮な海の幸をお裾分けしてもらったり、不自由はありません。住居は診療所の目の前に寮があり、古さはありますが家具家電もついており快適に過ごせています。



トレッキング「岬めぐりコース」にて

プライベートでは、散歩やトレッキングで礼文の雄大な自然を全身で感じ、毎日絵葉書を見ているような、そんな素敵な時間を過ごしています。時には釣りにチャレンジしたり、山菜取りに行ってみたり新しい経験がいっぱいです。雨や風が強い日には、島の体育館で体を動かしたり、同僚とおうちごはんをしたり、なんだかんだ充実しています。



澄海岬(すかいみさき)

【学んだこと・感想】

ご縁がありこの島に来ることができ、本当に幸せな時間を過ごさせてもらっています。何より嬉しいのは前職までイライラすることが多かった自分が、毎日笑顔で心穏やかに患者さんと接することができていることです。人生でこのような貴重な経験ができていることに感謝しながら、これからも楽しんで過ごせたらと思っています。

▶ 礼文町国民健康保険船泊診療所 事務長 小本様から

この度応援に来ていただいた小川さんは、とにかく明るくいつも笑顔が絶えない方で、患者さんや同僚の看護師ともすぐに打ち解け、毎日張り切って仕事をしています。お休みの日はあちこち出かけて、礼文島を満喫しています。